

# 教育ニュース「響学 共動」 No.13

今週の児童川柳

「学校に トンボ飛ぶや

秋がくる」(5年生)

平成22年9月21日

広島市立吉島小学校

「実りの秋」が、校舎のあちこちの掲示板に。ひまわり学級の廊下の掲示板には、美味しそうな葡萄の実が並ぶ。ぴかぴか拭き掃除名人のAさんと黙々拭き掃除名人のBさん、担任の先生との共同作品です。お見事!!!!!!。



## 100人を超える敬老会で、2年生がきらきらした瞳でお祝いの合奏と合唱を

去る17日、吉島地区敬老会で、2年生が心のこもった合奏と合唱を。「小犬のマーチ」を、ピアノなどパーツにわかれて真剣に合奏する子どもたち。続いて、日本語、英語、中国語、ドイツ語、トルコ語、スワヒリ語、そして昔の日本語で「かぞえ歌」を口を大きく開け笑顔で合唱する子どもたち。体がその歌声に自然に動く。さらに、お祝いのきもちが朝の連続ドラマの主題歌「ありがとう」の合唱が続く。この歌の結びでは、子どもたちと担任の先生が知恵を出し合い作詞した歌詞が・・・。  
その歌詞と歌声に、引率した私の涙腺が緩み……。



### 歌詞の一部

♪ 「ありがとう」おじいちゃん  
おばあちゃん  
そのえがお だいすきだから  
つないだその右手の  
やさしい ぬくもりを  
ぼくらはしんじているから  
「ありがとう」ってことばをいま  
あなたにつたえますから いつまでも元気で  
みまもっていてね  
ずっと そのえがお わすれないよ ♪

歌を終えた子どもたちは、大きな拍手を受けました。自分たちの思いを伝えられた子どもたちの表情は満足感で満ちたりていました。  
よい機会を与えてくださった敬老会の皆様にも厚く御礼もうしあげます。

## 風鈴の音から虫のねの季節、昆虫の体のしくみに観察眼の駆使用する3年生は輝いています！

廊下の小窓から、黒板にめあて「チョウと比べて、ほかの昆虫の体はどうなっているんだろう」がみえる。比較観察を通して、確かな観察眼と昆虫への関心を高めるといふ学習のねらいがあるようです。

「みんなが持ち寄った昆虫の体、どんなところを、どうやって観察しようか？」と先生から観察の視点や方法を尋ねる問いが。児童からは、「あしやほねの数やつき方を、体の分かれ方の様子を、口や耳があるのか・・・」などが。

その後、担任の先生が持ち込んだ昆虫も加わり、グループごとに観察が始まり、気づきを色別カードに記入する児童。チョウの体のしくみと共通するところ、異なるところがどんどん生まれている。先生の話では、次の時間に記入された気づきをKJ法で分類整理するとともに、観察した昆虫を50インチのテレビ画面に写しだし、さまざまな気づきの正誤を確かめるそうです。

ところで、ある子どもも新聞に、こんな英単語が。これらの単語からも、昆虫の共通点や特徴を発見することができそうです。3年生のみなさん、「吉島のファールをめさせ！」

### 昆虫の一例 どんな昆虫でしょう？

dragonfly(ドラゴンフライ)

firefly(ファイアフライ)

grasshopper(グラスホッパー)